



補習校だより

平成28年度 第17号

平成28年9月3日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

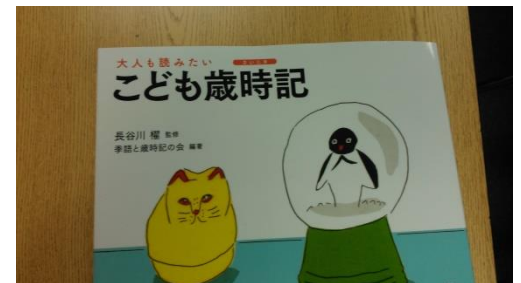
山奥で 紅葉を見て 息をのむ

日本語による、五・七・五の定型詩であり、世界の中でも最短の定型詩であるといわれる“俳句”は、日本語の美しさを端的に表した文章表現です。文部科学省の現行学習指導要領では“伝統的な言語文化に関する指導を重視すること”としており、“改正教育基本法において伝統や文化に関する教育が重視されたことを踏まえ、伝統的な言語文化を小学校低学年から取り上げて親しむようにし、我が国の言語文化を継承し、新たな創造へとつないでいくことができるよう”に内容が構成されています。

これらを踏まえ小学部5年生では、「俳句作り」に取り組んでいます。「俳句」には、季節を表す言葉—季語を織り込むことが必要です。そこで必要なのが“歳時記”です。今年、PTAから「子ども歳時記」を十冊購入していただきました。子ども達はこれを手を、季語を選びながら俳句作りに熱中していました。まだ納得のいく“作品”は出来上がっていないようですが歳時記を読み、季節の言葉から日本の四季を感じる事ができそうです。購入してくださったPTA役員会の皆さん方、保護者の皆様に感謝します。



【え〜っと、「夏」の季語は？—小5】



【大人も読みたい—子ども歳時記】

運営委員会の皆様に感謝！

本校の総則に、運営委員会は“本校のすべての活動と行事を運営する。”と記載されています。本校の運営は、運営委員会の活動なしには成り立ちません。どの委員さんも常時活動や大きな行事運営に尽力しています。でも、予期していなかった事柄にすぐ対応していただくことがあります。

休み時間にボールで遊んでいた子ども達から「ボールが屋根の上に上がってしまいました！」（いや、正確に言うと「ボールを屋根の上に上げた」のですが…）という知らせがきました。さっそく、男性の運営委員さん方がはしごを持ち出し、無事に回収してくれました。こんなところでも活躍していただいています。感謝、感謝です。

